



クラブインフォメーション

発行:(公財)鳥取県体育協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内
 TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 平成27年12月 第76号

平成27年度公益財団法人日本障がい者スポーツ協会委託事業

この事業は、障がい者が各地域にある総合型地域スポーツクラブにおいて、運動やスポーツレクリエーション活動に参加しやすい環境づくりを目指すことを目的として行われます。

鳥取県から5クラブを選定し(アンケート調査により希望されたクラブから選定)、各クラブ10月～12月の間に概ね5回程度実施します。

11月に開催された事業をお知らせします。

【11月】

NPO法人地域スポーツ推進協会

日付	時間	内容
11月1日(日)	10:00～11:30	トランポリン

スポnetなんぶ

日付	時間	内容
11月4日(水)	14:00～15:00	水中運動
18日(水)	14:00～15:00	軽体操・レクリエーション

若桜クラブ

日付	時間	内容
11月14日(土)	9:30～11:30	室内グラウンド・ゴルフ スポーツ吹矢・卓球バレー
28日(土)	9:30～11:30	室内グラウンド・ゴルフ スポーツ吹矢・卓球バレー

ほうきスマイリースポーツクラブ

日付	時間	内容
11月25日(水)	10:00～12:00	卓球バレー

一般社団法人 山陰リンクの会

日付	時間	内容
11月2日(月)	9:50～10:35	室内グラウンド・ゴルフ





平成27年11月7日(土)・8日(日)、「中国ブロッククラブネットワークアクション2015」が、広島市広島国際会議場で開催されました。

当日は、中国ブロックの各県総合型クラブより、創設支援・自立支援クラブ、クラブマネージャー設置支援クラブ及び都道府県総合型クラブ連絡協議会加入クラブの総勢77名が参集し、先進クラブ関係者から総合型クラブ設立準備に必要な情報や具体的な取組内容の情報を共有することができました。

また、クラブ関係者が抱える各種問題の解決の糸口を探るためのグループワークを行いました。今後は、クラブ育成支援のためのネットワークの強化と、各都道府県総合型クラブ連絡協議会間の連携・協力体制のより一層の必要性を感じました。

内容

【1日目】

■基調講演

テーマ：「人と人地域と地域をつなぐまちづくり」

講師：浜田 靖彦氏（一般社団法人元気なまち協創日本代表理事）

■グループワーク

テーマ：地域と地域をつなぐ役割

基調講演では、一般社団法人元気なまち協創日本が取り組む「サロン活動」の事例発表があり、サロン活動のポイント等教えていただきました。

グループワークでは、「各クラブのミッションは何か」、「わたしのミッションは？」について、それぞれ発表し、「ミッションとは何か！」また定義について真剣に考える機会を与えていただき、まずはミッション（目的）を明確にして、具体的な計画を立案することの大切さを教えていただきました。

まとめとして、「総合型クラブのミッションは皆が共有できることだから、最後にはシンプルになり皆が同じミッションになるのではと思う。それが皆つながる、つなぐことになると思う。」と浜田さんからご指導いただきました。

【2日目】

■講演

テーマ：「障がい者スポーツについて」

講師：坂光 徹彦氏（アフィーレ広島代表）

■グループワーク

テーマ：「障がい者スポーツについて」

講演では、アフィーレ広島の活動内容や、障がい者スポーツのビデオを視聴しました。

講演終了後、お話を聞いてどんなことを感じたか、アフィーレ広島がクラブ交流に来られたら、自分たちのクラブは何ができるかについてグループワークを行い、障がい者スポーツに対する理解を深めることができました。

※アフィーレ広島は、アダプテッドサッカー（障がい者サッカー）というスポーツを通じて、障がい者と健常者の垣根を越えた交流と社会貢献に寄与することを目的に活動している。現在は、アンプティサッカーとブラインドサッカーの2チームが活動している。



タンデム自転車講習会



平成27年11月24日（火）、倉吉スポーツセンター体育館で、鳥取県・一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会主催で「タンデム自転車乗り方講習会」が開催され、総合型クラブからは、山陰リンクの会・NPO法人ウルTRASポーツクラブ・けたかスポーツクラブに参加していただきました。

公益財団法人日本サイクリング協会の講師の方から、タンデム自転車の特性や乗車の心得等の説明を受けた後、参加者が2名1組になり走行に挑戦しました。

初めて運転される方がほとんどで、最初の漕ぎだしに戸惑いましたが、スタートすると安定し気持ちよく漕ぐことができました。

タンデム自転車は、後方に乗る人はハンドル操作の必要がないため、視覚障害者や高齢者、子どもたちが乗車して行動範囲を広げることができます。

鳥取県内で走行ができる場所が限られますが、今後のクラブ運営に役立ててもらえたらと思います。

【タンデム自転車の主な特性】

- ・発進時にふらつき不安定になる。
- ・ホイールベースが長いため小回りが利かない。
- ・重量が重く、走行慣性が大きいためブレーキの効果が弱い。
- ・停止時に2人分の体重を支える必要があり、パイロットは体力（腕力）が必要となる。

【走行時の主な遵守事項】

- ・安全運転の義務
- ・車道走行が原則。歩道は例外。
- ・歩道は通行できない。

※道路交通法上、タンデム自転車で公道を走行することは違反ではないが、各都道府県の公安委員会は乗車人員の制限を定めることができるため、地域によって対応が異なる。鳥取県は制限解除に向け検討している。



けたかスポーツクラブ：瀧本さん



山陰リンクの会：杉谷さん
ウルTRASポーツクラブ：小原さん

問合せ先

一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会

TEL：0857-50-1071 FAX：0857-50-1074

E:mail torikensyospo@ts-sawayaka.jp